

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	臨時職員等雇用事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		主管課	人材育成課			
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課長	互井 謙治			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	臨時職員	意図	簡素で効率的な組織を維持しながら、行政サービスの維持・向上をしていくため、臨時職員の活用を図る。
事業内容	職員欠員対応臨時職員等の雇用に係る事業。			
事業開始から現在までの状況変化	軽易な事務や繁忙期の業務などに臨時職員を活用し、職員数の削減を図ったことに伴い、開始時は臨時職員数は増加したが、再任用職員の活用等により現在の任用者数はほぼ横ばい状態にある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	臨時職員数	802	849	876	人	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
	人口の増加に伴い、業務量も増加の傾向にあることや正職員の産前産後・育児休暇等が増加し、その代替えとして臨時職員が増加した。		

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	29,924,137	14,098,800	30,037,606
事業費(b)(円)	23,745,637	8,058,000	24,104,806
うち一般財源	23,745,637	8,058,000	24,104,806
職員給与費(c)(円)	6,178,500	6,040,800	5,932,800
人役・職員(人)	0.90	0.90	0.90
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	再任用職員の配置に伴い、臨時職員の適正な配置について、担当部署との調整を図る。	③取組における課題(Check)	会計年度任用職員制度の策定及びスムーズな移行。
②H30に実施した取組(Do)	再任用職員の配置に伴い、臨時職員の配置の見直しを行った。賃金の見直しを図った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	会計年度任用職員制度を周知し、理解していただき、スムーズな移行に努める。